

豪州ウッドサイド社向け海底ガスパイプライン用鋼管を約13万トン受注

当社はこの度、オーストラリア最大のエネルギー会社であるウッドサイド社(*1)開発のブルート液化天然ガス(LNG)プロジェクト(*2)向けに、ラインパイプ用鋼管を約13万トン、三井物産㈱と共同で全量受注致しました。内訳は、大径溶接鋼管(UO鋼管)約12万トン、電縫管(ERW鋼管)約1万トンで、本年末より2008年秋にかけて納入致します。

クリーンエネルギーとされる天然ガスの需要が高まる中、オーストラリアは海底ガス田の開発を活発化しており、中でも大型ガス田が集積している北西大陸棚では、エネルギー各社が意欲的にLNG投資を企図しております。今回開発されるウッドサイド社のブルートLNGプロジェクトは、今後オーストラリアで開発されるプロジェクトの中で最初となる大型案件であり、北西大陸棚の沖合180kmのガス田から、陸上のLNG基地まで天然ガスを運ぶ海底パイプラインを敷設します。当社はその幹線用に外径36インチ及び20インチサイズの大径溶接鋼管(UO鋼管)と、併設される外径6インチサイズのMEG(*3)ライン用に電縫鋼管(ERW鋼管)を供給致します。

海底パイプライン用鋼管は、仕様が非常に厳しいため、その供給は高い技術力を有する鋼管メーカーに限定されています。このような分野で13万トンもの大規模な鋼管需要を、一社単独で全量供給することになりましたのは、当社の海底用パイプラインの豊富な実績に裏付けられる、高品質及び安定デリバリーの信頼性に加え、海底用でのUO鋼管とERW鋼管の品揃えが、ウッドサイド社に高く評価されたものと考えております。

また、ブルートプロジェクトから抽出されます天然ガスは、日本の電力・ガス会社が購入することが決まっております。わが国のエネルギー調達に素材の立場から貢献できるものと考えております。

当社は、今後も、長年に渡り蓄積してきた技術先進性に基づく高いプレゼンスを活かし、オーストラリアを始めとする世界の資源・エネルギー開発分野に貢献していきたいと考えております。

(本件に関するお問い合わせ先)

総務部広報センター 鈴木 TEL:03-3275-5021

(* 1) ウッドサイド社の概要

正式会社名 : Woodside Petroleum Ltd.

オーストラリア最大のエネルギー(オイル&ガス)会社

シェル・オーストラリア社が 34% 出資

売上高 : A\$3,810million (2006 年)

純利益 : A\$1,427million (2006 年)

ガス生産量 : 209 Bcf (Billion cubic feet) (2006年)

石化資源生産量 : 約68百万バレル石油換算 (2006年)

(* 2) プルート LNG プロジェクトの概要

参加事業者 : ウッドサイド100 %、(2007.10月現在)

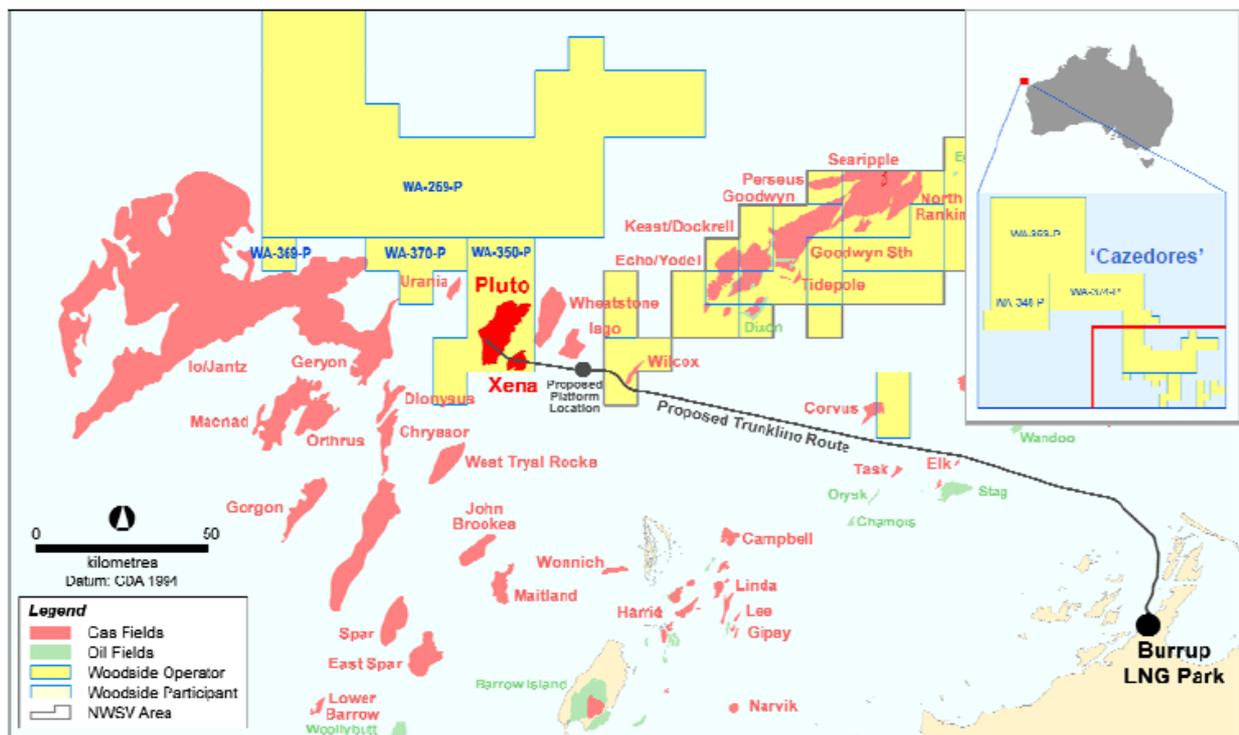
埋蔵量 : 天然ガス 5 Tcf (Trillion cubic feet)

LNG生産量 : 4.3 百万トン/年

敷設距離 : 180km(並行してMEGライン 180km 併設)

(* 3) MEG ラインとは

坑井から産出する天然ガス中に含まれる水分は、処理・輸送中に水蒸気の露点以下に冷えると遊離水となり、温度・圧力条件によってはガスハイドレート(水和物)を生成するが、これは固体であるので、配管の閉そく(塞)などのトラブルの原因となる。それを防ぐため、モノエチレングリコール(MEG)を溶液吸収として用いることで脱湿を行うが、この MEG を輸送するために、天然ガス配管に併設するパイプライン。従来、継目無鋼管(シームレス鋼管)を用いることが多かったが、当社の電縫鋼管(ERW 鋼管)の高品位性が評価され、今回採用に至った。



以上